

## 令和7年1月10日定例記者会見

### 【市長あいさつ（要旨）】

昨年は能登半島地震から始まり大変な幕開けであったが、本年は昨年と比べ穏やかな正月を迎えることができた。

しかしインフルエンザが非常に流行しており、年末年始は本市の休日急病診療所だけでなく市民病院とようてい記念病院で手分けして対応するような状況であった。過去最大規模の流行と報道されており心配しているが、市民の皆さまの健康第一、無事故・無災害で平和な明るい年になることを心から願っている。

昨年は能登半島地震があり、夏には南海トラフ巨大地震注意情報が発令され、豪雨や猛暑など災害に見舞われた年であった。一昨年「過去 2000 年で最も暑かった」と言われていたが、昨年はそれを上回るような連日の猛暑で、気候変動を強く実感する年でもあった。世界的にはウクライナや中東で戦争が続いていたり、先進各国で軒並み政権交代が行われたりするなど、不安定な状況となった。環境問題についても、温暖化が進み、農作物や水産物などにも影響が出てきているという報道も相次いだ。振り返ると、非常に危機感や将来不安を強く感じる、激動の一年だったと思っている。

一方で、本市出身の牛奥小羽選手が、パリオリンピックに女子体操日本代表として出場したという明るいニュースもあった。寺本明日香さんに続いて2人目のオリンピック選手である。お二方とも女子体操の選手で、縁を感じているところである。また、メジャーリーグで大谷翔平選手が 50-50 という歴史的快挙を達成したときには日本全体が盛り上がり、スポーツには大いに沸いた一年であった。

市政においては様々な取組を進めてきたが、特に4月には小牧市の最上位計画である「まちづくり推進計画」の第2次基本計画を本格的にスタートさせた。5月には本市で34年ぶりの東海市長会を開催し、東海四県96市から270人を超える皆様にお越しいただき、小牧の歴史や魅力を感じていただく機会となった。

また、特に学校の教育環境の整備について、児童生徒の減少が本格的に進んでいく中で適正化を図っていかなければならないということで、教育委員会において議論を進めてきた。その考えを取りまとめ、将来の教育環境の整備方針としての「小牧市新たな学校づくり推進計画」を策定したところである。今後は市民の皆様のご理解をいただきながら、しっかりと進めていく必要がある。

そして、市民会館と公民館のトイレや講堂、展示場など、利便性や快適性の向上を図るために大規模改修を進めているところであり、完了したところから順次利用を開始している。3月には市民会館ホールの利用が再開できる見込みである。

本市は令和 3 年度に、当時尾張地域で初めての SDGs 未来都市として、内閣府から選定いただいた。その後も、多様性と包摂性のある持続可能な自治体を目指して様々な取組を進めてきた。「こまきこども未来大学」として企業の皆様にご協力いただいて SDGs を学ぶ講座を開催したり、本市独自の「SDGs こまきカード」を作成したりという取組が評価されたものと考えている。先日発表された SDGs 先進度ランキングにおいて一昨年より順位を上げ、全国 815 市区の中で 18 位となった。東海四県では 4 位ということで、一定の成果を上げることができたと考えている。

明けて本年、市制施行 70 周年の記念すべき年を迎えた。10 年前の市制施行 60 周年の折に「こども夢・チャレンジ No.1 都市宣言」や「自治基本条例」を制定したことは、これまでの取組の一つの大きな方向性を決める契機となったと考えている。

市制施行 70 周年においては、健康と環境を重要なテーマとして位置付けている。1月 19 日にまなび創造館の中に健康習慣化サポート施設として「ヘルスラボ・こまき」をオープンする。市民の健康づくりに向けたきっかけづくりや気付きの支援を行ってまいりたい。

環境に関する取組としては、市制施行 50 周年の折に「環境都市宣言」を行った。宣言後 20 年が経過する中で、直面している状況が変わってきている。そうした中、特にカーボンニュートラルや循環型社会など、時代に応じた内容にリニューアルしていくことを考えている。市民や企業の皆様とともに、意識をしっかりと持ち行動していくことで環境は変わっていくので、環境配慮型のライフスタイルへの行動変容に繋がればと考えている。

都市宣言を議決事項として加えたのは、市制施行 60 周年の折に整備した「自治基本条例」と「議会基本条例」の折であり、「こども夢・チャレンジ No.1 都市宣言」が初めて議決をいただいた都市宣言である。今回は環境都市宣言についても議決をいただくことで、名実ともに市としての位置付けを明確にしたい。

その他にも、様々な記念事業を予定している。既にご案内しているものもあるが、本日の会見でもいくつかお知らせする。プロ野球のオープン戦について、以前は市民球場にて開催しており、しばらく開催されていなかったが、市制 70 周年記念事業として誘致した。そして、将棋の第 66 期王位戦第 1 局も、同様に誘致することとしている。他にも市制施行 70 周年の記念切手の発行や、60 周年の折にも製作をして大変好評いただいた本市独自のお出かけ情報誌の作成などを予定している。準備ができ次第お知らせさせていただく。

市主催以外にも、市民団体の皆様による企画事業をご提案いただいている。皆様とともに盛り上げていくという趣旨で、市民団体の皆様による企画事業も連携して大い

に盛り上げてまいりたい。ぜひ、市民の皆様のご参加とご協力をお願いしたい。

こういった節目の折に、市民の皆様とともに過去の足跡や小牧のあゆみを振り返り、先人の思いや努力を受け継いで現在を見つめ、未来に向けてどう繋ぐかを共有してまいりたい。子どもたちのために明るい地域を創造することについて、行政の力だけではできないため、市民や市民団体、企業など多くの皆様による主体的な取組の中で、みんなで力を合わせてまいりたい。そうした未来に向かって思いを高めていくという、新たな一步を踏み出す一年だと思っている。

ただし、来年度の事業について現在予算編成の最中である。予算の調整が終わり、議会への提案準備ができれば改めて説明させていただく。

## 【説明要旨】

### ■市制 70 周年記念 T シャツ等の販売について

オール小牧で市制 70 周年の機運を醸成するとともに、市への愛着と誇りを深めていただくことを目的として、市制 70 周年記念 T シャツ等を製作・販売している。

これは株式会社ユニクロが提供する、Web 上でオリジナル T シャツなどを作成し、購入できるサービスである「UT me!」を活用し、70 周年記念ロゴマークの入ったオリジナルデザインの T シャツをはじめ、スウェットやパーカー、トートバッグを販売しているもの。

販売期間は令和 7 年 12 月末までを予定しており、1 着あたりの市の収入となる 300 円については、チャリティーとして市内の乳児院に寄付することとしている。ぜひ多くの皆様に購入いただき、オール小牧で 70 周年を盛り上げてまいりたい。

### ■市制 70 周年記念事業 ヘルスラボ・こまきオープニング式典&健康フェア in こまきの開催について

小牧駅前ラピオビルにある多世代交流プラザ 5 階まなび創造館に整備を進めてきた「ヘルスラボ・こまき」のオープンを記念し、1 月 19 日(日)10 時 30 分よりオープニング式典と健康フェア in こまきを開催する。

これは、子どもからお年寄りまで、すべての市民が健康づくりに取り組むためのきっかけと気付きの機会を提供し、一人一人の健康づくりの習慣化を目指す常設の施設である。施設内では、フレイルチェックシステムや体組成計により身体の状態が見える化したり、IC チップ内蔵の実物大サンプルを備えた食育 SAT システムにより日頃の食生活の栄養バランスや摂取カロリーを確認したりすることができ、また、健康や運動に関する相談体制も整えている。この施設では、公共だ

けでなく民間企業や大学、地域の方々にも協力いただきながら、市民の皆様の健康づくりの取組を進めていく。

「ヘルスラボ・こまき」のオープニング式典に続き、まなび創造館のアリーナにおいて健康フェア in こまきを開催する。順天堂大学の谷本教授による記念講演やステージイベントのほか、健康測定や健康応援ブースもあり、ご自身の健康状態をチェックしていただくことができる。健康に興味を持っていただくきっかけづくりの場となるため、多くの方にご来場いただきたい。

#### ■健康づくり推進事業所表彰式交流会の開催について

この事業は、従業員とその家族の健康づくりを経営的視点でとらえ、事業所自らが健康づくりを推進することで、働き世代の健康づくりを目指すとともに、事業所が健康経営に取り組みやすい環境を整備し、自主的な健康経営の推進を目指すことを目的として行っている。

全国健康保険協会と連携して企業の健康経営を支援していくため、今年度から健康経営優良事業所の顕彰制度を創設した。小牧市健康経営優良事業所顕彰審査会にて優良事業所を選定し、2月4日(火)に健康経営優良事業所5社を表彰する。

表彰式終了後には交流会を開催し、表彰された企業の取組事例の紹介や、健康経営に取り組む事業所どうしの意見交換などを行う予定である。交流会にはできるだけ多くの事業所の皆様にご参加していただきたいため、Zoomによるオンライン参加ができるようにする。1月17日を期限として参加申込みの受付を行っているところである。

#### ■市制70周年記念事業プロ野球オープン戦の開催について

市制70周年記念事業として、3月14日(金)午後1時から、市民球場において中日ドラゴンズ対埼玉西武ライオンズのプロ野球オープン戦を開催する。

当日は、球場に隣接する陶小学校の児童とともに、今春に卒業する中学3年生等を無料招待する予定である。チケットは1月24日午前10時から発売となる。

#### ■自動運転実証調査事業の実施について

本日、バスの車体のラッピングデザインを公表する。市制施行70周年のポスターを基調としたデザインで、桃花台にゆかりのある桃やぶどうを配置し、子どもたちが呼びかけているようなデザインとしている。チラシについても本日から配布する。

## ■こまき山イーストパークのロゴマークについて

### 作成の目的

本年6月ごろに供用開始を予定している、旧図書館跡地に新設する公園「こまき山イーストパーク」において、多くの市民の皆様に関心や愛着を持っていただけるよう、公園内のサインや公園のPRなどに使用するロゴマークを作成した。

### コンセプト

小牧駅から小牧山に向かってシンボルロードを歩いたときに、公園のシンボルである「こまき山」と、本市のシンボルで小牧山が重なる風景、そして親子が公園で過ごす姿を表現している。

また、市民の皆様に関心いただき決定した愛称を使用し、シンプルなデザインとすることで、すべての世代から愛される公園を表現している。

### 今後の活用

公園内のサイン看板や園名板にロゴマークを使用し、また、園内のカラーが統一された特色ある公園を目指してまいりたい。供用開始以降も、ロゴマークを活用し、親しみやすく立ち寄りたくなる公園のPRなどを実施してまいりたい。

## ■第60回全国史跡整備市町村協議会大会の開催について

全国史跡整備市町村協議会とは、史跡・名勝、天然記念物等の所在する市町村をもって構成され、協調して史跡等の整備の推進を図り、もって文化財の保存と活用に資することを目的として組織された会議で、令和6年8月1日現在、全国で630市町村が加盟している。

昭和41年から毎年、加盟市町村が一堂に会する「全国史跡整備市町村協議会大会」を加盟市町村の中で順番に開催している。令和7年度は記念すべき第60回大会であり、市制施行70周年を迎えた本市において、記念事業として開催することとなった。

愛知県下14市町で「第60回全国史跡整備市町村協議会大会実行委員会」を組織し、本年10月の大会開催に向けて準備を進めていく。

大会は10月15日(水)から17日(金)まで行う予定で、15日に開会式、総会、講演会を市民会館で行い、16日から17日の2日間にわたりエクスカージョンを行う。

今大会は、愛知県としても初めての開催となることから、全国から多くの関係者をお迎えし、小牧市が誇る史跡小牧山をはじめ、県内の国宝犬山城や志段味古墳群などの史跡をエクスカージョンという形でめぐっていただき、史跡等整備の取組を全国に発信していく。